

平成27年度の活動報告及び
平成28年度の活動計画について

健康分科会

健康分科会

【平成 27 年度活動報告】

○第 1 回分科会（平成 27 年 7 月 27 日開催）

1. 委員の委嘱、健康分科会組織と所掌事務の説明
2. かがし健康応援プラン（第二次）の概要説明
3. 平成 26 年度保健事業実績報告及び平成 27 年度保健事業計画の説明
 - (1) 健康増進対策

①健康増進対策：資料 9-1

- ・データヘルス計画（レセプト・健診情報等のデータ分析に基づく効率的・効果的保健事業を P D C A サイクルで実施するための計画）に基づいた保健事業の説明
- ・特定健康診査、特定保健指導実施率向上対策の報告
- ・生活習慣病予防のための栄養改善・運動習慣をつける取り組みの報告：資料 9-2

②がん検診対策

- ・がん検診受診率向上対策として、無料クーポン券、無料券（大腸がん、乳がん、子宮がん）の配布や、無料クーポン券等（乳がん、子宮がん）で未利用者への受診勧奨通知、女性限定のレディース健診日実施及び精密検査受診率向上対策の説明

③こころの健康づくり対策（自殺予防対策）

- ・自殺の現状報告及び対策については、こころの健康づくり相談窓口設置や関係機関との連携体制について連絡会議、ケース検討会等実施の説明

(2) 母子保健対策

- ①健やか親子 2 1 計画(第 2 次)の概要説明
- ②切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策
 - ・妊娠・出産包括支援事業の説明及び取り組み報告

○第 2 回分科会（平成 28 年 2 月 24 日開催）

平成 27 年度保健事業の重点課題の取り組み及び平成 28 年度の取り組みについて

1. 生活習慣病予防対策についての説明及び取り組み報告
 - (1) 全ての市民を対象とした健康づくり (2) 特定健診・特定保健指導 (3) 重症化予防
 - (4) がん予防について
2. 妊娠から産後までの切れ目のない支援対策として、妊娠、出産包括支援事業の実施状況と今後の子育て世代包括支援センターについての説明

【資料等】

- ・保健事業実施計画(データヘルス計画)：資料 9-1
- ・脱！メタボダイジェスト版：資料 9-2

加賀市国保データヘルス計画の概要

保健事業実施計画（データヘルス計画）：特定健康診査等実施計画・健康日本21（第二次）との整合性を図り推進

特定健診・特定保健指導の実施率の向上：受診率 43.8% 保健指導率 69.3%（平成26年度法定報告）

介護・医療費の分析

医療費が高額となる疾患

- 入院が高額となっている疾患→虚血性心疾患 費用額は1億285万円と全体の13.0%を占める。
- 長期入院となり高額となる疾患→脳血管疾患 費用額は1億570万円と全体の14.3%を占める。
- 長期療養により高額となる疾患→人工透析 人工透析患者のうち糖尿病が原因となるのは全体の52.9%で年々上昇している。

介護の状況

- 高い1件当たりの介護給付費 加賀市：76,031円 同規模保険者：63,607円 居宅サービス・施設サービス共に高い
- 2号認定者の63.3%が脳血管疾患

効果が見込まれる優先対象者に保健指導実施

- 重症化が予防できる
- 医療費の伸びを抑制できる

データの分析

加賀市国保被保険者の特徴

- 高い高齢化率 28.0% 同規模 24.3%・県 23.9%・国 23.2%
- 所得水準が低い 市国保 96.8万円 協会けんぽ 16.1万円
- 多い入院患者数・病床数（人口千対） 市 26.6人同規模 19.0人県 24.6人国 18.0人 病床数 市 70.9 同規模 46.1 県 66.6

未受診者の状況

健診・治療なし 27.5%（40～64歳 39.5%）
未受診者への受診勧奨（ハガキ・電話・訪問）
健康管理状況や重症化していないか状況把握

健康のための資源
（受診の機会、治療の機会）
の公平性の確保

健診結果等の分析

健診結果の状況

- 異常値の者の割合が高い 40～64歳の男性は約半数の項目で、女性はほとんどの項目で全国より高い。
- 高いメタボリックシンドローム該当者割合 男 28.7%、女 12.2%といずれも同規模・県・国より高い。メタボ3項目（血糖・血圧・脂質）とも高い者が6.6%いる。

生活習慣の状況

- 不規則な食習慣 週3回以上の朝食抜きの者は9.3%、夕食後の間食を摂る者は14.3%、就寝前に夕食を摂っている者は17.0%であり、同規模より高い。
- 高い喫煙率と飲酒 喫煙率 16.0%、1日3合以上飲酒している者は4.3%であり、同規模・県・国より高い。
- 運動不足 1回30分以上の運動なし 61.1%、1日1時間以上の運動なし 51.7%といずれも同規模より高い。

個々に合わせた生活習慣改善につなげる保健指導実施

- 重症化が予防できる
- 死亡が回避できる

短期的な目標

脂質異常症の減少
脂質異常症で医療機関受診者の割合
LDLコレステロール 180mg/dL 160人 2.8%
中性脂肪 300mg/dL 182人 3.2%

中長期的な目標

虚血性心疾患死亡率の減少
平成24年度心疾患年齢調整死亡率 47.5

メタボリックシンドロームの減少
メタボリックシンドローム該当者 19.4%

糖尿病有病者の増加の抑制
糖尿病で医療機関受診者の割合
HbA1c 6.5以上（治療中 7.0以上） 408人 7.2%

糖尿病腎症による
新規透析患者数の減少
糖尿病性腎症1件当りの医療費 1,279,960円

高血圧の改善
高血圧症で医療機関受診者の割合
II度高血圧以上 200人 3.5%

脳血管疾患死亡率の減少
脳血管疾患1件当りの医療費 595,500円

健康格差の縮小

健康分科会

【平成28年度活動計画】

〔重点事業〕

1. 「(仮称)かが健幸長寿講座」の実施：資料10-1

市民の健康増進・健康寿命の延伸を目標に、加賀市医療センター・長寿課（地域包括支援センター）・健康課が協働し毎月1回、主に加賀市医療センターを会場に、医療・健康・介護に関する内容の健康講座を行う。

2. 利用者支援事業（母子保健型）の充実：資料10-2

平成27年度から、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、健康課（保健センター）が総合的相談支援をワンストップ拠点として対応するために、利用者支援事業「母子保健型」に移行し本格実施した。

養育支援のない産後の産後ケア事業の実施

家族から十分な家事や育児などの援助が受けられない産婦及び乳児に対して、「宿泊型」「通所型」「訪問型」により、心身のケアや育児に関する指導等の支援を行う。

3. (仮称)子育て世代包括支援センターの開設事業：資料10-3

妊娠期、出産後の母子に対する心身のケアや育児支援などを行う「母子保健型」の利用者支援事業に加えて、子育て時の様々情報提供などを行う利用者支援事業を行うコーディネーターが、同一施設で一つのチームとなり切れ目のない支援の強化を目指し、平成28年度10月に現在の保健センターで開設する。

4. 保健センター（健康課）の移転について

平成28年度12月以降（年度内）に、加賀市民病院跡地に保健センターの移転に関し必要な事項を協議する。

【資料等】

- ・かが健幸長寿講座（仮称）：資料10-1
- ・加賀市妊娠・出産包括支援事業：資料10-2
- ・子育て世代包括支援センター：資料10-3

かが健幸長寿講座（仮称）の実施について

加賀市医療センターを核に関係機関の連携による健康講座等により、市民の健康増進・健康長寿を推進し、元気な加賀市の実現を目指す。

加賀市医師会

協力

かが健幸長寿講座

（講座・教室・相談）

協力

健康増進施設
スポーツ推進委員等

健康課

- ・食や運動
- ・歯周病
- ・がん予防
- ・メンタルヘルス
- ・禁煙
- ・骨粗しょう症

長寿課・包括支援センター

- ・認知症予防講座
- ・認知症サポーター養成講座
- ・高齢者介護予防講座
- ・かもまる講座（介護保険の仕組み等）

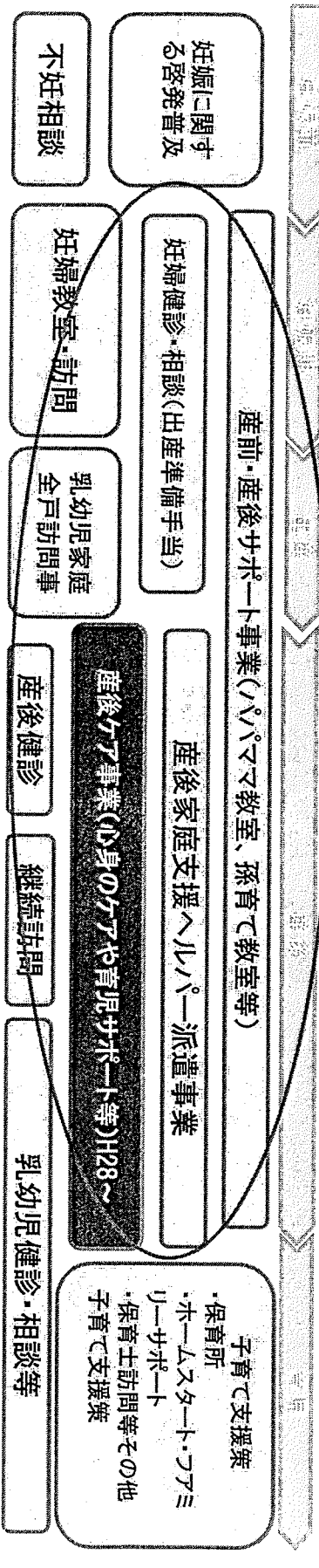
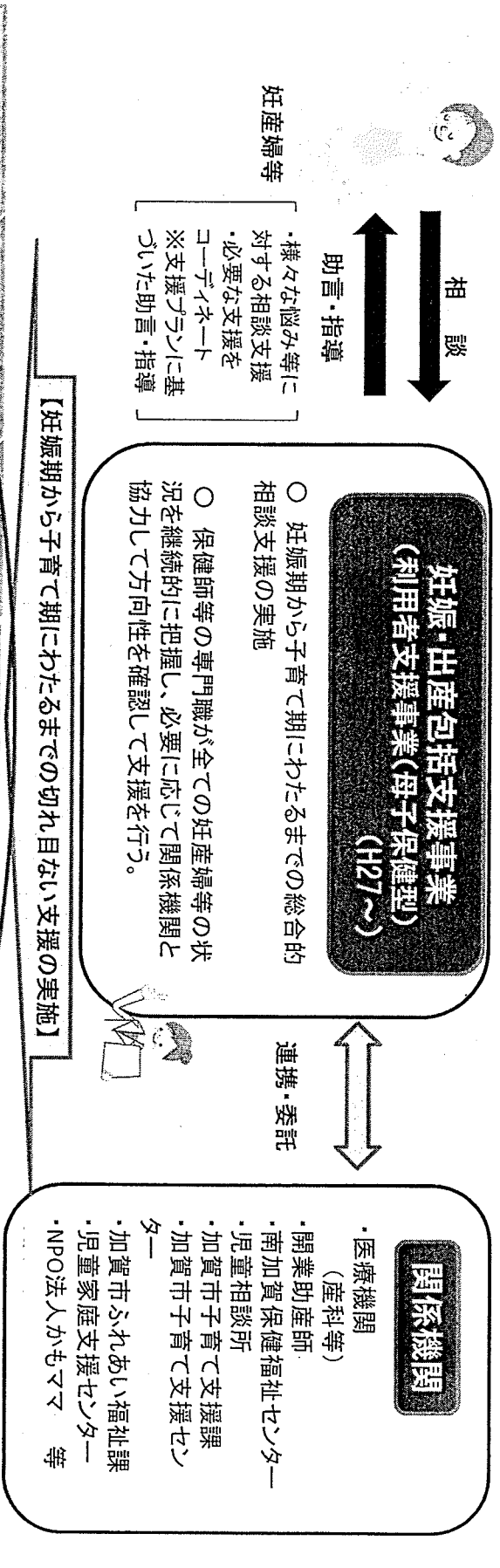
加賀市医療センター

- ・母親教室
- ・糖尿病週間行事
- ・まちあいしつ講座

加賀市妊娠・出産包括支援事業について ※子ども・子育て支援法の利用者支援事業

- 母子保健に関する相談に対応するため、妊娠・出産包括支援事業」を市で実施する。妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、健康課(保健センター)が総合的相談支援をワンストップ拠点として担う事業である。
- 利用者支援事業の(母子保健型)については、保健師等の専門職が全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて支援計画を立て関係機関と協力して、妊産婦等に対しきめ細かい支援を実施する。

* 平成26年2月から、「妊娠・出産包括支援モデル事業」として実施。平成27年度からの本格実施にあたり、利用者支援事業に移行



利用者支援事業（母子保健型）と利用者支援事業（基本型）を一体的に実施

資料10-3

〔事業イマニシ〕 利用者支援事業（母子保健型）、利用者支援事業（基本型）の両事業を同一の施設で、両事業のコーディネーターが同じ場所で1つのチームとなって実施する。



【妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援の実施】

